

平成 26 年度国産畜産物安心確保等支援事業
(快適性に配慮した家畜の飼養管理推進事業)

乳用牛の飼養実態アンケート調査報告書

平成 27 年 3 月

公益社団法人 畜産技術協会

目 次

I. 調査の目的	1
II. 調査の方法	1
III. 調査の結果	2
■ 基本事項	2
■ 飼養管理について	3
1. 観察・記録について	3
2. 給餌・給水について	4
3. 飼養環境について	7
4. 飼養施設について	9
5. 疾病・外傷等への対応	13
6. 外科的処置について	15
7. その他	19
アンケート調査用紙	23

I. 調査の目的

近年、アニマルウェルフェアは世界的に注目され、国際機関である OIE（国際獣疫事務局）において、肉用牛及び肉用鶏のアニマルウェルフェア基準が採択され、乳用牛については草案が作成され検討が進められている。また、ISO（国際標準化機構）では技術仕様書の検討が行われるなど、国際基準の作成に向けて様々な取り組みが進められている。

我が国では、平成 22 年度に「アニマルウェルフェアの考え方に対応した家畜の飼養管理指針」を取りまとめ、畜産関係者等に対して普及啓発を行ってきたが、国際機関等での検討や消費者等の関心が高まっていることから、今後、更なる的確な対応が求められると考えられる。

そこで、今後のアニマルウェルフェアへの的確な対応に向けた検討を行う際の基礎資料として活用するため、本アンケート調査を実施した。

II. 調査の方法

本調査は、全国酪農業協同組合連合会に委託して実施した。

調査に当たっては、全国酪農業協同組合連合会が、全国の乳用牛飼養農家を訪問し、聞き取りによるアンケート調査を行った。調査期間は、平成 26 年 10 月から 11 月であった。

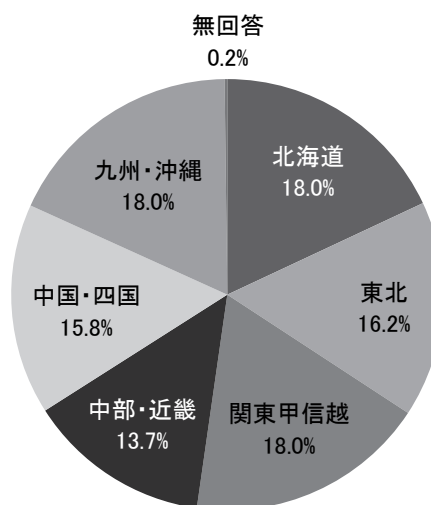
なお、アンケート回答数は、505 件であった。

Ⅲ. 調査の結果

■ 基本事項

1. 農場の所在地（都道府県名）をご記入ください

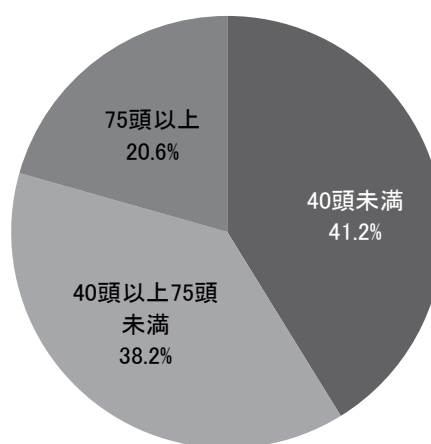
	件数	割合
A 北海道	91	18.0%
B 東北	82	16.2%
C 関東甲信越	91	18.0%
D 中部・近畿	69	13.7%
E 中国・四国	80	15.8%
F 九州・沖縄	91	18.0%
G 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



回答を得た農場を地域別にみると、「北海道」、「関東甲信越」、「九州・沖縄」がそれぞれ 91 件で 18.0%であった。次いで、「東北」が 82 件 (16.2%)、「中国・四国」が 80 件 (15.8%)、「中部・近畿」が 69 件 (13.7%) であった。

2. 経産牛の飼養頭数は、現在何頭ですか

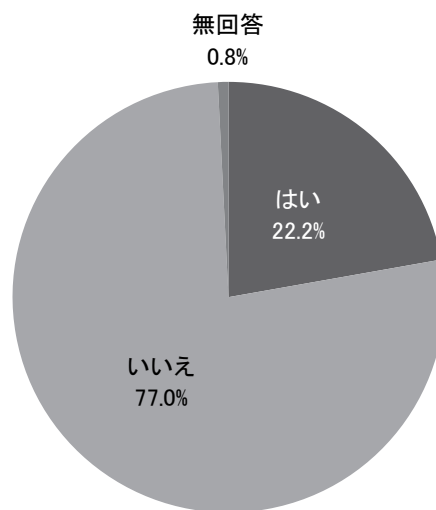
	件数	割合
A 40 頭未満	208	41.2%
B 40 頭以上 75 頭未満	193	38.2%
C 75 頭以上	104	20.6%
合計	505	100.0%



経産牛の飼養頭数は、「40 頭未満」が 208 件 (41.2%) と最も多かった。次いで「40 頭以上 75 頭未満」が 193 件 (38.2%)、「75 頭以上」が 104 件 (20.6%) であった。

3. 平成22年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針」をご存知ですか

	件数	割合
A はい	112	22.2%
B いいえ	389	77.0%
C 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%



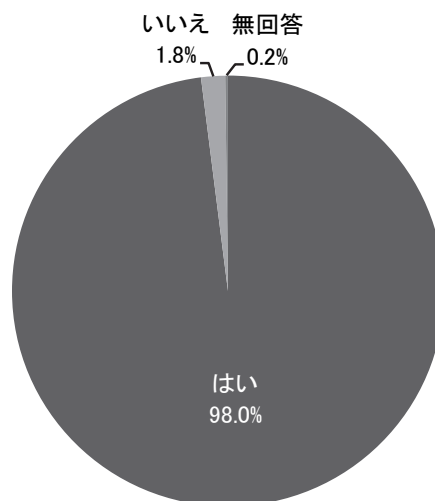
今回のアンケート結果では、「いいえ」が389件で約8割を占め、現状では「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針」はあまり認知されていない結果となった。「はい」は112件(22.2%)であった。

■ 飼養管理

1. 観察・記録について

問1. 1日1回以上、牛の健康状態を観察していますか

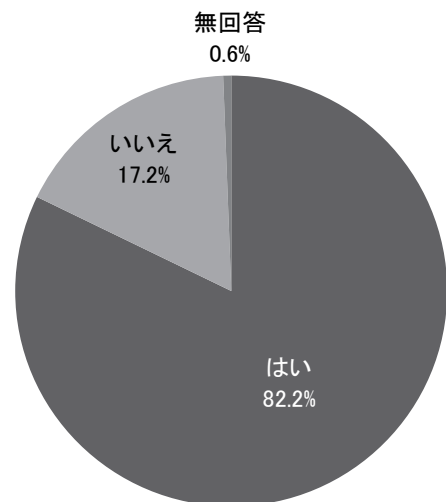
	件数	割合
A はい	495	98.0%
B いいえ	9	1.8%
C 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は495件であり、ほぼすべての農場(98.0%)で1日1回以上、牛の健康状態の観察が行われていた。

問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、搾乳量等）に関する記録を毎日つけていますか

	件数	割合
A はい	415	82.2%
B いいえ	87	17.2%
C 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%

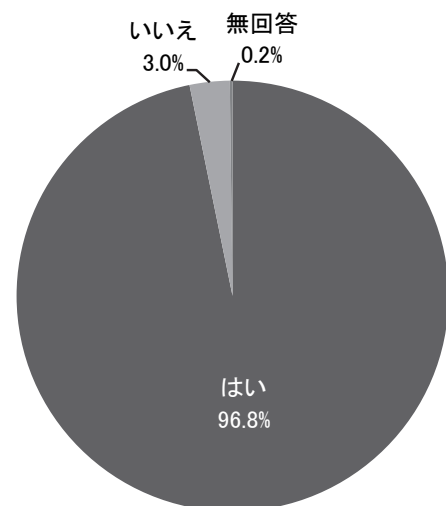


「はい」と回答した農場は415件であり、8割以上の農場で飼養管理に関する記録が毎日行われていた。「いいえ」は87件（17.2%）であった。

2. 給餌・給水について

問3. 牛の発育段階等に応じた飼料を給与していますか

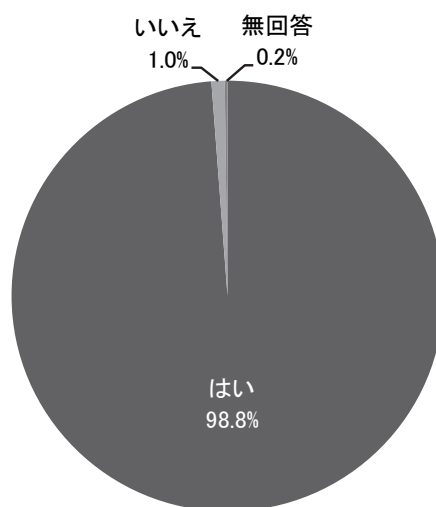
	件数	割合
A はい	489	96.8%
B いいえ	15	3.0%
C 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は489件であり、ほぼすべての農場（96.8%）で発育段階に応じた飼料給与が行われていた。

問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか

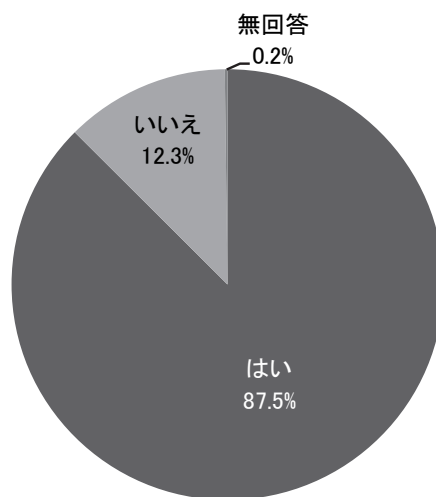
	件数	割合
A はい	499	98.8%
B いいえ	5	1.0%
C 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は499件であり、ほぼすべての農場（98.8%）で、牛に毎日、新鮮な飼料と水の給与が十分に行われていた。

問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を行っていますか

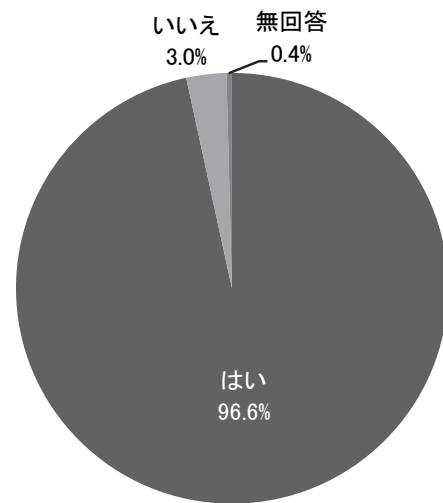
	件数	割合
A はい	442	87.5%
B いいえ	62	12.3%
C 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は442件であり、9割近くの農場で毎日、給餌・給水ライン等の設備の点検・確認が行われていた。「いいえ」は62件（12.3%）であった。

問6. 飼槽や飲水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか

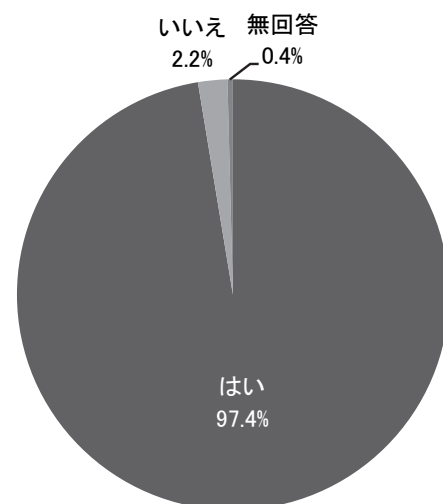
	件数	割合
A はい	488	96.6%
B いいえ	15	3.0%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は488件であり、ほぼすべての農場（96.6%）で、給餌器や給水器が汚れた場合に清掃が行われていた。

問7. 牛が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか

	件数	割合
A はい	492	97.4%
B いいえ	11	2.2%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%

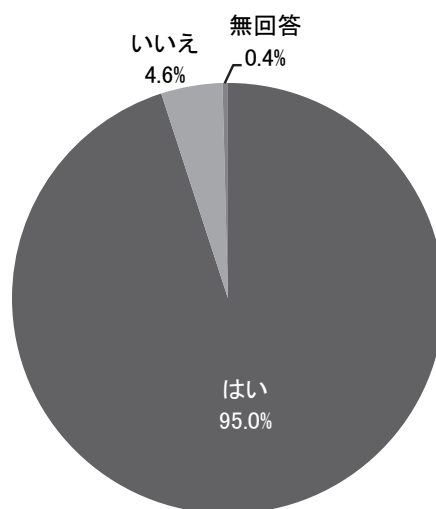


「はい」と回答した農場は492件であり、ほぼすべての農場（97.4%）で、牛が不自由なく飼料摂取、飲水できる環境が整備されていた。

3. 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか

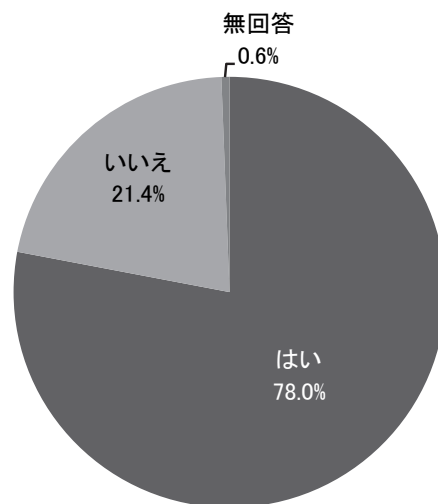
	件数	割合
A はい	480	95.0%
B いいえ	23	4.6%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は480件であり、ほぼすべての農場（95.0%）で、暑熱対策が行われていた。

問9. 寒冷対策を行っていますか

	件数	割合
A はい	394	78.0%
B いいえ	108	21.4%
C 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%

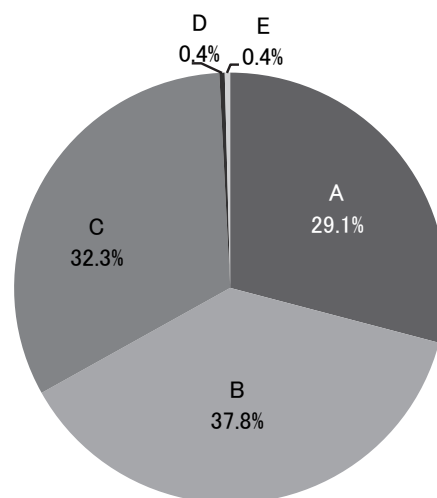


「はい」と回答した農場は394件であり、約8割の農場で寒冷対策が行われていた。「いいえ」は108件（21.4%）であった。

問8と比較すると寒冷対策よりも暑熱対策を行っている農場のほうが多い結果であった。

問 10. 牛舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか

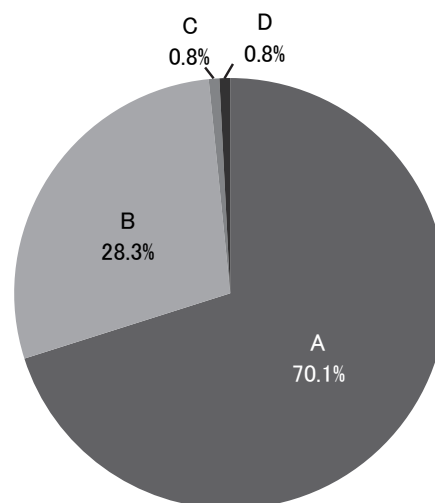
	件数	割合
A 定期的に点検・整備している	147	29.1%
B 使う必要がある際に点検・整備している	191	37.8%
C 点検は行っていないが、壊れたら整備している	163	32.3%
D 点検・整備はせず、壊れたままになっている	2	0.4%
E 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「定期的に点検・整備を行っている」農場が 147 件 (29.1%)、「使用時に点検・整備を行う」農場が 191 件 (37.8%) で、約 7 割の農場で施設や設備が壊れる前に点検・整備が行われていた。「特に点検は行わないが、壊れた際に整備する」との回答が 163 件 (32.3%) あり、「壊れたままになっている」との回答が 2 件 (0.4%) あった。

問 11. 牛舎内の明るさは確保できていますか

	件数	割合
A 照明器具の設置や窓の開閉などにより確保できている	354	70.1%
B 多少暗いものの、牛の活動や管理者が作業を行う分には問題がない	143	28.3%
C 暗いが、そのままにしている	4	0.8%
D 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%



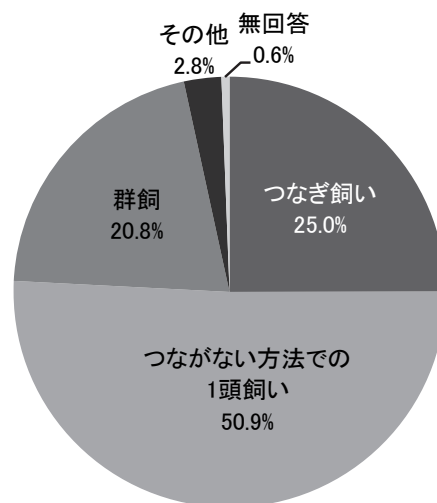
牛舎内の明るさについては、「照明器具等で明るさを十分確保している」と回答した農場は 354 件で約 7 割を占めた。「多少暗いが牛の活動や管理者の作業には支障がない」とした農場の 143 件 (28.3%) を加えると、ほぼすべての農場 (98.4%) で作業に差し支えない明るさが確保されていた。

4. 飼養施設について

問 12. 牛の主な飼養方法はどれに当てはまりますか

(1) 子 牛

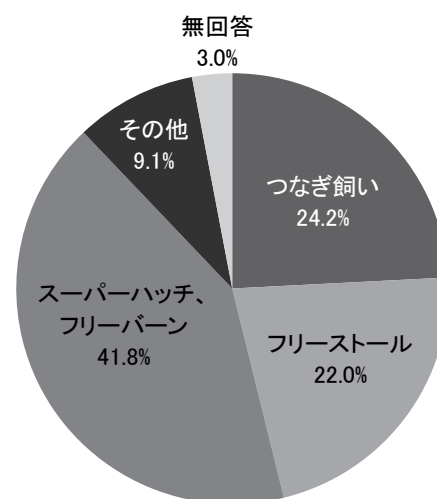
	件数	割合
A つなぎ飼い	126	25.0%
B つながない方法での1頭飼い	257	50.9%
C 群飼	105	20.8%
D その他	14	2.8%
E 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%



子牛の主な飼養方法については、「つながない方法での1頭飼い」が257件と約5割を占めた。次いで、「つなぎ飼い」が126件（25.0%）で、両者を加えた「子牛の単飼」が約7.5割を占めた。「群飼」は105件（20.8%）であった。

(2) 育成牛

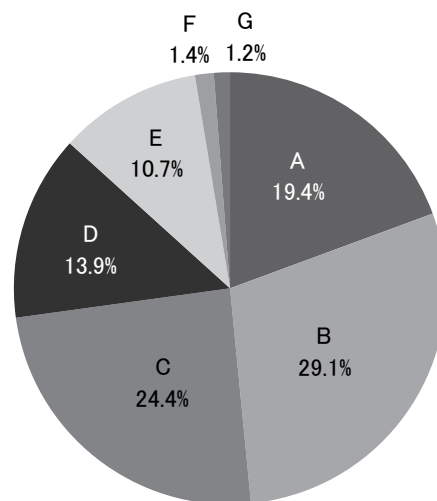
	件数	割合
A つなぎ飼い	122	24.2%
B フリーストール	111	22.0%
C スーパーハッチ、フリーバーン	211	41.8%
D その他	46	9.1%
E 無回答	15	3.0%
合計	505	100.0%



育成牛の主な飼養方法については、「スーパーハッチ、フリーバーン」での飼育が211件（41.8%）と最も多く、次いで、「つなぎ飼い」が122件（24.2%）、「フリーストール」が111件（22.0%）であった。

(3) 搾乳牛

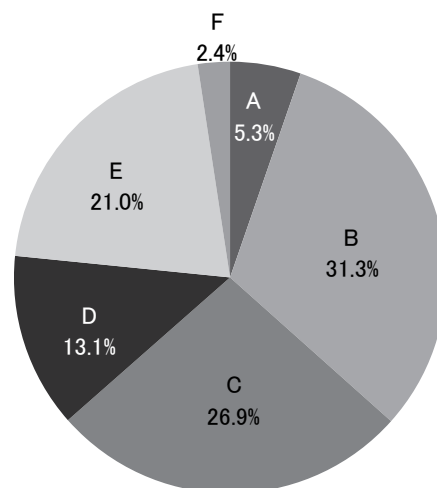
	件数	割合
A つなぎ飼い (スタンション)	98	19.4%
B つなぎ飼い (ニューヨークタイ)	147	29.1%
C つなぎ飼い (ニューヨークタイ以外のロープ等)	123	24.4%
D フリーストール	70	13.9%
E フリーバーン	54	10.7%
F その他	7	1.4%
G 無回答	6	1.2%
合計	505	100.0%



搾乳牛の主な飼養方法については、「ニューヨークタイでのつなぎ飼い」が147件(29.1%)と最も多く、次いで、「ニューヨークタイ以外のロープ等でのつなぎ飼い」が123件(24.4%)、「スタンションでのつなぎ飼い」が98件(19.4%)で、つなぎ飼いが全体の約7割を占めた。つなぎ飼い以外の飼養方法は、フリーストールが70件(13.9%)、フリーバーンが54件(10.7%)であった。

問13. 主な飼養方法における搾乳牛1頭当たりの飼養面積はどれに当てはまりますか

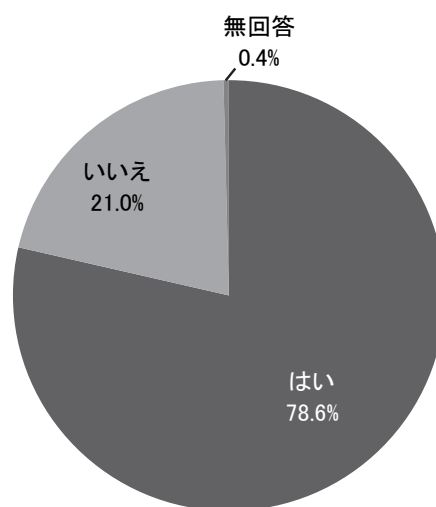
	件数	割合
A 1.8 m ² 未満	27	5.3%
B 1.8 m ² 以上 2.0 m ² 未満	158	31.3%
C 2.0 m ² 以上 2.2 m ² 未満	136	26.9%
D 2.2 m ² 以上 2.4 m ² 未満	66	13.1%
E 2.4 m ² 以上	106	21.0%
F 無回答	12	2.4%
合計	505	100.0%



主な飼養方法における搾乳牛1頭当たりの飼養面積は、「1.8 m²以上 2.0 m²未満」が158件(31.3%)と最も多く、次いで、「2.0 m²以上 2.2 m²未満」が136件(26.9%)、「2.4 m²以上」が106件(21.0%)、「2.2 m²以上 2.4 m²未満」が66件(13.1%)であった。

問 14. 牛舎の床は滑りにくい構造になっていますか

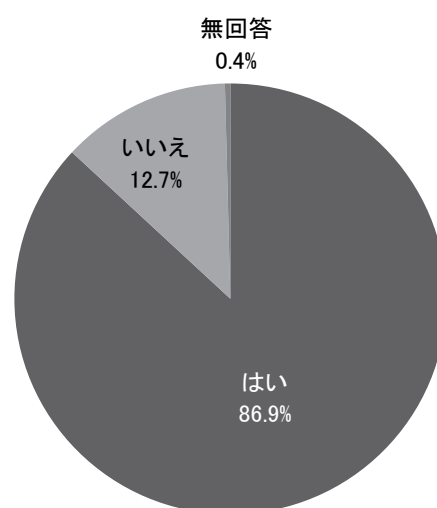
	件数	割合
A はい	397	78.6%
B いいえ	106	21.0%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は 397 件であり、約 8 割の農場で牛舎の床が滑りにくい構造になっていた。「いいえ」は 106 件 (21.0%) であった。

問 15. 牛舎で敷料を使用していますか

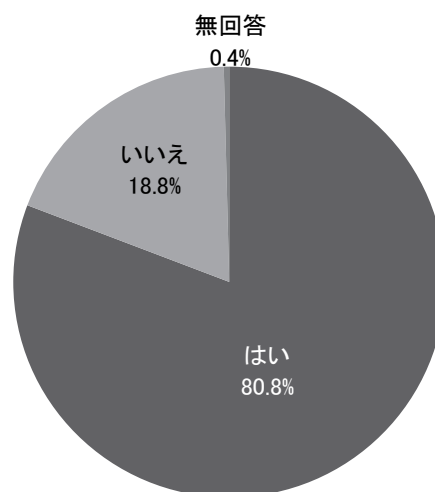
	件数	割合
A はい	439	86.9%
B いいえ	64	12.7%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は 439 件であり、ほとんどの牛舎 (86.9%) で敷料が飼養されていた。「いいえ」は 64 件 (12.7%) であった。

問 16. 牛床に床資材（ゴムマット等）を設置していますか

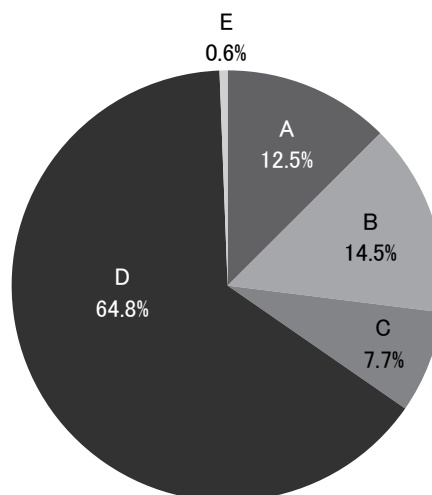
	件数	割合
A はい	408	80.8%
B いいえ	95	18.8%
C 無回答	2	0.4%
合計	505	100.0%



「はい」と回答した農場は 408 件であり、約 8 割の農場で牛床にゴムマット等の床資材が設置されていた。「いいえ」は 95 件（18.8%）であった。

問 17. パドックや放牧地に牛を放していますか

	件数	割合
A 毎日放している	63	12.5%
B 毎日ではないが放している	73	14.5%
C パドックや放牧地を有しているが放していない	39	7.7%
D パドックや放牧地が無いので放していない	327	64.8%
E 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%

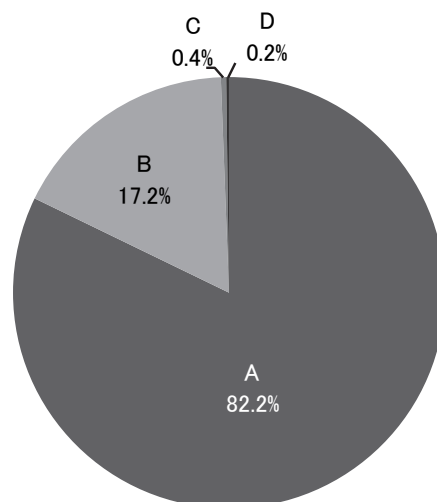


パドックや放牧地での牛の放し飼いについては、「パドックや放牧地が無いので放していない」と回答した農家が 327 件（64.8%）と最も多く、次いで、「毎日ではないが放している」が 73 件（14.5%）、「毎日放している」が 63 件で 12.5%、「放していない」と回答した農場が 39 件（7.7%）で、約 7 割の農場が放していないとの結果であった。

5. 疾病・外傷等への対応

問 18. 牛の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか

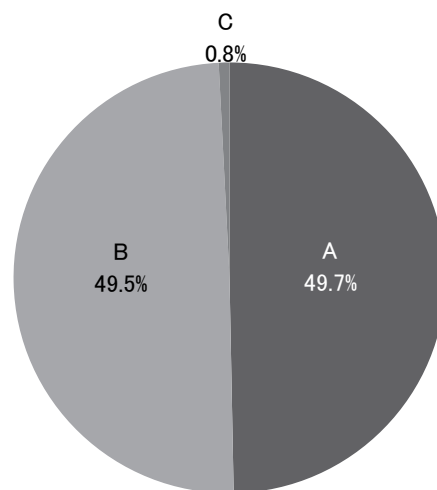
	件数	割合
A 行っている	415	82.2%
B 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している	87	17.2%
C 行っていない	2	0.4%
D 無回答	1	0.2%
合計	505	100.0%



牛の怪我や疾病への対応については、「行っている」が 415 件 (82.2%)、「多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療する」が 87 件 (17.2%) と、ほぼすべての農場 (99.4%) で治療等が行われていた。

問 19. 外傷や疾病の牛が出た場合に他の牛と分けて管理していますか

	件数	割合
A 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している	251	49.7%
B 分けていない	250	49.5%
C 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%

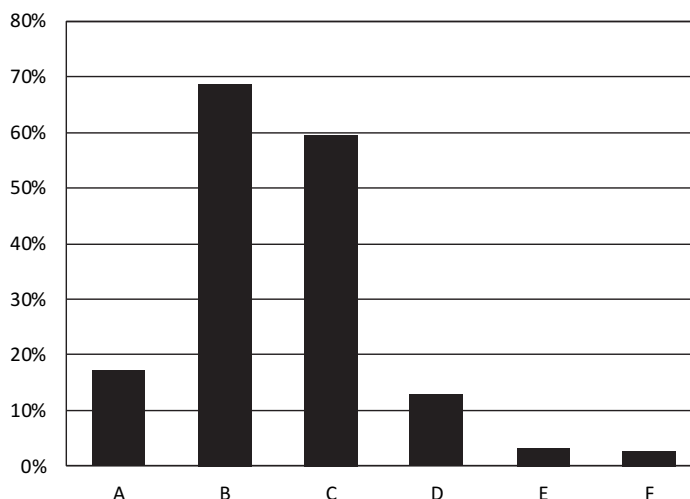


外傷や疾病の牛が出た場合の管理については、「重症の場合、他の牛と分けて管理する」と回答した農場は 251 件 (49.7%)、分けていない農場は 250 件 (49.5%) と対応が 2 分された結果であった。

問 20. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか（複数回答可）

	件数	割合	順位
A 車両消毒等の防疫施設を設置している	87	17.2%	3
B 踏込消毒層を牛舎の出入口に置くなどの防疫対策を心がけている	346	68.5%	1
C 消石灰の散布を行っている	300	59.4%	2
D 牛舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている	65	12.9%	4
E 行っていない	16	3.2%	5
F その他	14	2.8%	6

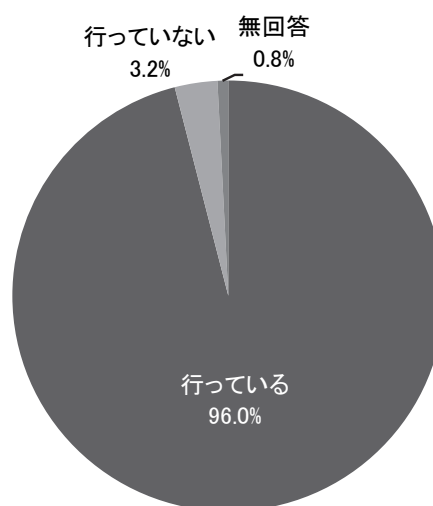
※ 回答農場数 505 を母数とした。



防疫対策として、最も多かった回答が「踏込消毒層の設置」で346件（68.5%）の農場が行っていた。次いで、「消石灰の散布」が300件（59.4%）でこの2つが約6割以上の農場で実施されていた。その他に「車両消毒等の防疫施設設置」が87件（17.2%）、「野生動物対策のためのネット張り」が65件（12.9%）であった。

問 21. 蹄病予防等のために削蹄を行っていますか

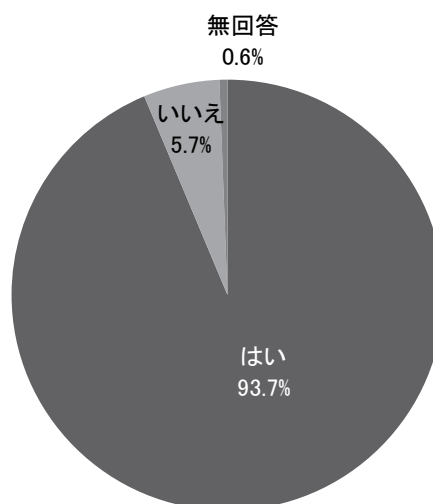
	件数	割合
A 行っている	485	96.0%
B 行っていない	16	3.2%
C 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%



「行っている」と回答した農場は485件であり、ほぼすべての農場（96.0%）で蹄病予防等のための削蹄が行われていた。

問 22. 1年に1回以上、削蹄を行っていますか

	件数	割合
A はい	473	93.7%
B いいえ	29	5.7%
C 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%

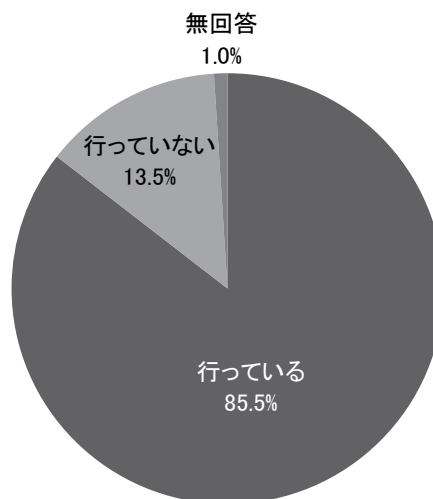


「はい」と回答した農場は473件であり、9割以上の農場で1年に1回以上の削蹄が行われていた。

6. 外科的処置について

問 23. 農場内で除角を行っていますか

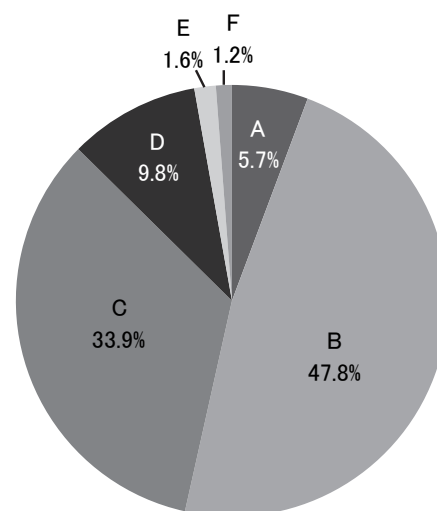
	件数	割合
A 行っている	432	85.5%
B 行っていない	68	13.5%
C 無回答	5	1.0%
合計	505	100.0%



「行っている」と回答した農場は432件であり、大多数の農場（85.5%）で除角が行われていた。「行っていない」は68件（13.5%）であった。

問 24. 除角を行っている場合、行う時期は主にいつ頃ですか

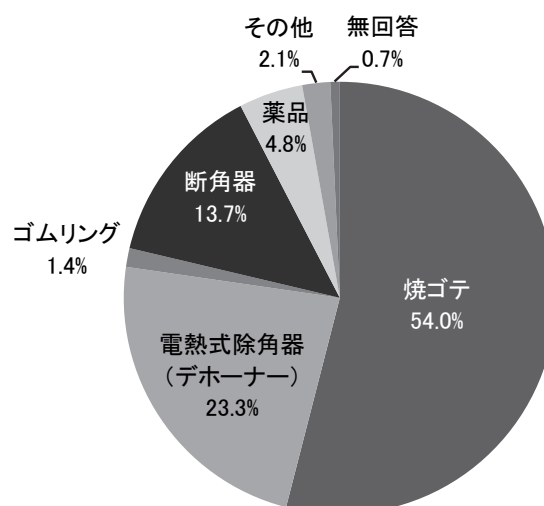
	件数	割合
A 生後 7 日以内	25	5.7%
B 生後 8 日以上 3 ヶ月齢未満	209	47.8%
C 3 ヶ月齢以上 6 ヶ月齢未満	148	33.9%
D 6 ヶ月齢以上 12 ヶ月齢未満	43	9.8%
E 1 年以上たってから	7	1.6%
F 無回答	5	1.2%
合計	437	100.0%



除角を行う主な時期については、「生後 8 日以上 3 ヶ月齢未満」での実施が 209 件 (47.8%) と最も多く、次いで、「3 ヶ月齢以上 6 ヶ月齢未満」が 148 件 (33.9%)、「6 ヶ月齢以上 12 ヶ月齢未満」が 43 件 (9.8%) であった。「生後 7 日以内」の若齢で実施する農場は 25 件 (5.7%) であった。

問 25. 除角を行っている場合、主にどのような方法で行っていますか

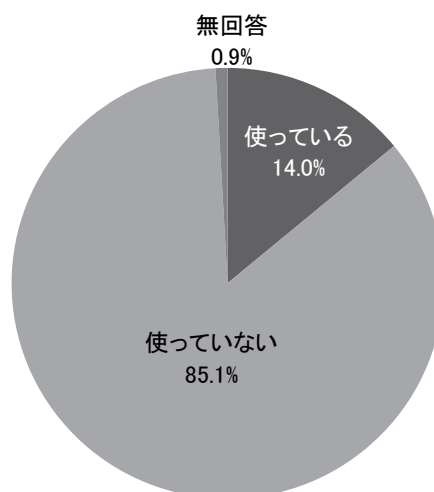
	件数	割合
A 焼ゴテ	236	54.0%
B 電熱式除角器 (デホーナー)	102	23.3%
C ゴムリング	6	1.4%
D 断角器	60	13.7%
E 薬品	21	4.8%
F その他	9	2.1%
G 無回答	3	0.7%
合計	437	100.0%



除角の主な方法については、「焼ゴテ」が 236 件 (54.0%) と半数以上を占めた。次いで、「デホーナー」が 102 件 (23.3%)、「断角器」が 60 件 (13.7%) であった。

問 26. 除角を行う時に麻酔を使っていますか

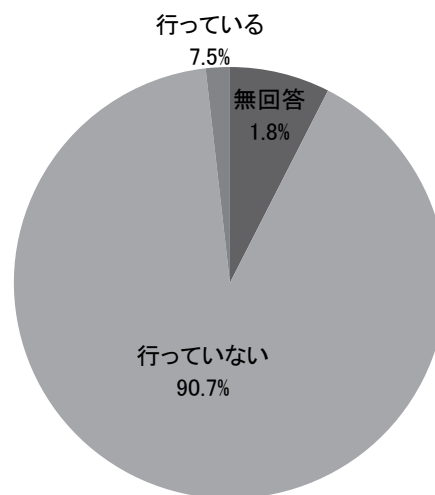
	件数	割合
A 使っている	61	14.0%
B 使っていない	372	85.1%
C 無回答	4	0.9%
合計	437	100.0%



「使っていない」農場が 372 件であり、8 割以上の農場で除角の際に麻酔を使用していない。「使っている」は 61 件（14.0%）であった。

問 27. 農場内で断尾を行っていますか

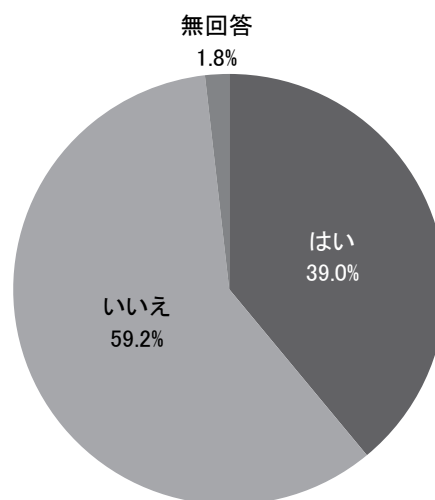
	件数	割合
A 行っている	38	7.5%
B 行っていない	458	90.7%
C 無回答	9	1.8%
合計	505	100.0%



「行っていない」が 458 件であり、9 割以上が農場内での断尾を行っていない結果となった。

問 28. 副乳頭の処置を行っていますか

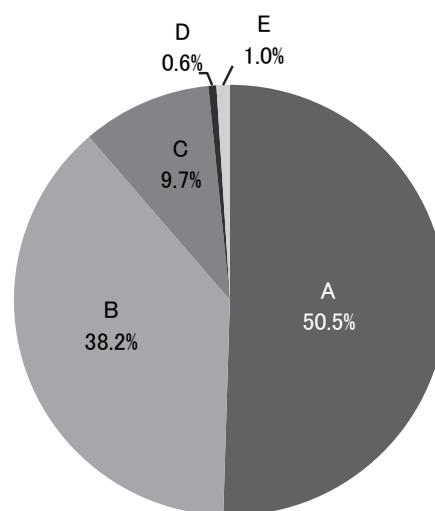
	件数	割合
A はい	197	39.0%
B いいえ	299	59.2%
C 無回答	9	1.8%
合計	505	100.0%



「いいえ」が 299 件であり、約 6 割の農場で副乳頭の処置が行われていない。「はい」は 197 件 (39.0%) であった。

問 29. 初めて子牛に初乳を飲ませるのは、生後何時間くらいですか

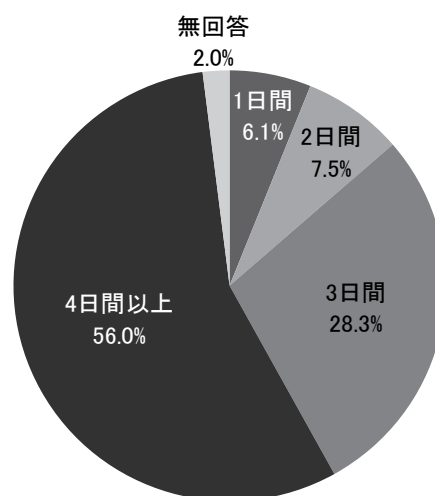
	件数	割合
A 生後直ちに与える	255	50.5%
B 生後 6 時間以内	193	38.2%
C 生後 6～12 時間以内	49	9.7%
D 生後 12 時間以上たってから	3	0.6%
E 無回答	5	1.0%
合計	505	100.0%



初めて子牛に初乳を飲ませる時間については、「生後直ちに与える」が 255 件 (50.5%) と最も多く、次いで、「生後 6 時間以内」が 193 件 (38.2%) で、「生後 6 時間以内」に子牛に初乳を与える農場は約 9 割であった。

問 30. 何日間、子牛に分娩牛（母牛）から搾った乳を与えていますか

	件数	割合
A 1日間	31	6.1%
B 2日間	38	7.5%
C 3日間	143	28.3%
D 4日間以上	283	56.0%
E 無回答	10	2.0%
合計	505	100.0%

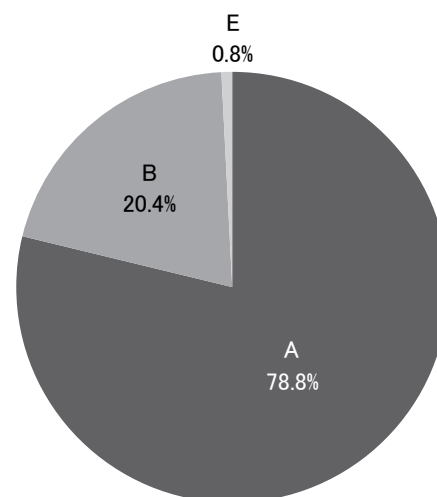


子牛に分娩牛（母牛）から搾った初乳を与える期間は、「4日間以上」が283件（56.0%）と最も多く、次いで、「3日間」が143件（28.3%）で、「3日間以上」子牛に初乳を与える農場は8割以上であった。

7. その他

問 31. 管理者が牛に近づいたとき、牛はどのような反応をしますか

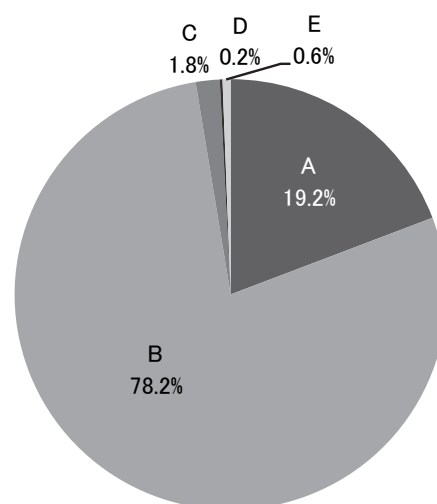
	件数	割合
A そばに寄って触っても逃げない	398	78.8%
B 比較的近くまで逃げないが、一定の距離以上は近づけない	103	20.4%
C 近づこうとすると、遠くからでも逃げる	0	0.0%
D 近づくと威嚇してくる	0	0.0%
E 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%



管理者が牛に近づいたときの牛の反応については、「そばに寄って触っても逃げない」が398件で約8割を占めた。次いで、「比較的近くまで逃げないが、一定の距離以上は近づけない」が103件（20.4%）であった。

問 32. 牛を移動させる際に何か道具を使っていますか

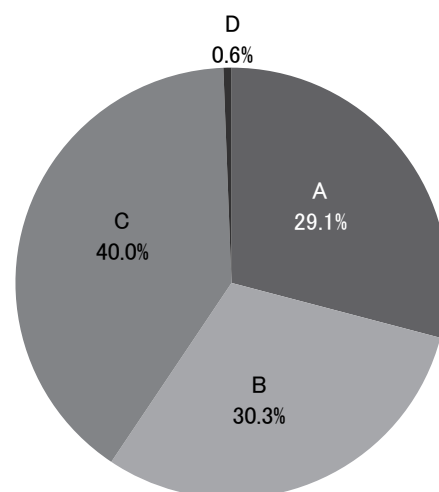
	件数	割合
A 使っていない	97	19.2%
B ロープを使って誘導している	395	78.2%
C 棒などで叩いて誘導している	9	1.8%
D その他	1	0.2%
E 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%



牛を移動させる際の道具の使用については、「ロープを使って誘導している」が 395 件で約 8 割を占めた。次いで、「使っていない」が 97 件（19.2%）であった。

問 33. 牛が身繕いできる器具はありますか

	件数	割合
A ある（カウブラシ等を設置している）	147	29.1%
B ないが、定期的にブラッシングしている	153	30.3%
C ない。ブラッシングも出荷等の特別な時にしかしない	202	40.0%
D 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%

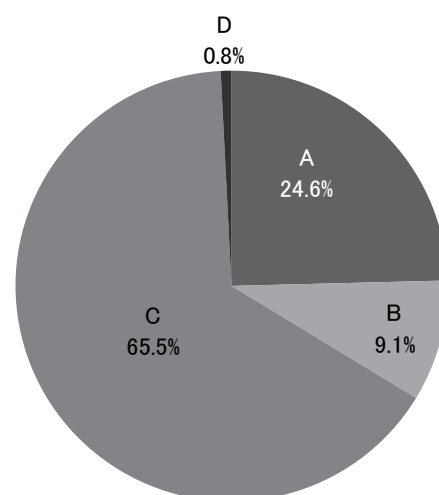


牛が身繕いできる器具の設置については、「ない。ブラッシングも出荷等の特別な時にしかしない」が 202 件（40.0%）と最も多く、次いで、「ないが、定期的にブラッシングしている」が 153 件（30.3%）と両者を合わせた「設置していない」が約 7 割であった。

また、「ある（カウブラシ等を設置している）」は 147 件（29.1%）で、「ないが、定期的にブラッシングしている」を含めた約 6 割の農場で牛の身繕いが行われていた。

問 34. 牛体の汚れ防止等を目的に、カウトレーナーを使用していますか

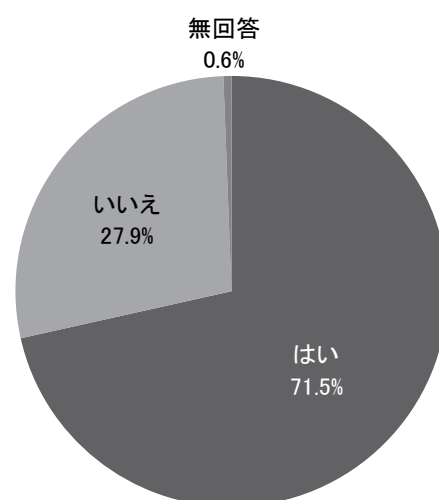
	件数	割合
A 常時使用している	124	24.6%
B 牛が慣れるまで使用し、その後は電気を切っている	46	9.1%
C 使用していない	331	65.5%
D 無回答	4	0.8%
合計	505	100.0%



カウトレーナーの使用については、「使用していない」が 331 件と 6 割以上であった。次いで、「常時使用している」が 124 件 (24.6%)、「牛が慣れるまで使用し、その後は電気を切っている」は 46 件 (9.1%) であった。

問 35. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか

	件数	割合
A はい	361	71.5%
B いいえ	141	27.9%
C 無回答	3	0.6%
合計	505	100.0%



「はい」が 361 件であり、7 割以上の農場で将来的なアニマルウェルフェアの検討が必要と感じているとの結果であった。「いいえ」は 141 件 (27.9%) であった。

乳用牛の飼養実態アンケート調査

■ 基本事項

1. あなたの農場の所在地（都道府県名）を下線部にご記入ください

⇒ _____

2. 経産牛の飼養頭数は、現在何頭ですか（下線部にご記入下さい）

⇒ _____頭

3. 平成22年3月に作成された「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針」をご存知ですか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

■ 飼養管理について、お伺いします

I 観察・記録について

- 問1. 1日1回以上、牛の健康状態を観察していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問2. 飼養管理（健康状態、病気や事故の発生の有無、治療やワクチン接種の履歴、搾乳量等）に関する記録を毎日つけていますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

II 給餌・給水について

- 問3. 牛の発育段階等に応じた飼料を給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問4. 毎日、新鮮な飼料と水を十分に給与していますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

- 問5. 毎日、新鮮な飼料や水を給与するため、餌タンクや給水ライン、飼槽・飲水器等の点検・確認を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
② () いいえ

問6. 飼槽や飲水器が、残渣や糞等で汚れた場合、清掃を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問7. 牛が不自由なく飼料を食べたり、水を飲んだりできていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

Ⅲ 飼養環境について

問8. 暑熱対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問9. 寒冷対策を行っていますか（○は1つ）

- ① () はい
- ② () いいえ

問10. 牛舎内の空調設備や照明設備等の点検・整備は行っていますか（○は1つ）

- ① () 定期的に点検・整備している
- ② () 使う必要がある際に点検・整備している
- ③ () 点検は行っていないが、壊れたら整備している
- ④ () 点検・整備はせず、壊れたままになっている

問11. 牛舎内の明るさは確保できていますか（○は1つ）

- ① () 照明の設置や窓の開閉などにより確保できている
- ② () 多少暗いものの、牛の活動や管理者が作業を行う分には問題がない
- ③ () 暗いが、そのままにしている

Ⅳ 飼養施設について

問12. 牛の主な飼養方法は、次のどれに当てはまりますか（区分ごとに○は1つ）

- (1) 子牛
 - ① () つなぎ飼い
 - ② () つながない方法での1頭飼い
 - ③ () 群飼
 - ④ () その他（具体的に：_____）

- (2) 育成牛
 - ① () つなぎ飼い
 - ② () フリーストール
 - ③ () スーパーハッチ・フリーバーン
 - ④ () その他（具体的に：_____）

- (3) 搾乳牛
- ① () つなぎ飼い (スタンション)
 - ② () つなぎ飼い (ニューヨークタイ)
 - ③ () つなぎ飼い (ニューヨークタイ以外のロープ等)
 - ④ () フリーストール
 - ⑤ () フリーバーン
 - ⑥ () その他 (具体的に: _____)

問 13. 主な飼養方法における搾乳牛 1 頭当たりの飼養面積は、次のどれに当てはまりますか (○は 1 つ)

- ① () 1.8 m² 未満
- ② () 1.8 m² 以上 2.0 m² 未満
- ③ () 2.0 m² 以上 2.2 m² 未満
- ④ () 2.2 m² 以上 2.4 m² 未満
- ⑤ () 2.4 m² 以上

問 14. 牛舎の床は滑りにくい構造になっていますか (○は 1 つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 15. 牛舎で敷料を使用していますか (○は 1 つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 16. 牛床に床資材 (ゴムマット等) を設置していますか (○は 1 つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 17. パドックや放牧地に牛を放していますか (○は 1 つ)

- ① () 毎日放している
- ② () 毎日ではないが放している
- ③ () パドックや放牧地を有しているが放していない
- ④ () パドックや放牧地が無いので放していない

V. 疾病・外傷等への対応

問 18. 牛の怪我や疾病が発生した場合、迅速な治療等を行っていますか (○は 1 つ)

- ① () 行っている
- ② () 多少の外傷や症状が軽ければ経過を見て、悪化したら治療している
- ③ () 行っていない

問 19. 外傷や疾病の牛が出た場合に他の牛と分けて管理していますか (○は1つ)

- ① () 重症の場合、単房などに入れて分けて管理している
- ② () 分けていない

問 20. 農場内に病原体等を侵入させないための防疫対策をとっていますか (複数回答可)

- ① () 車両消毒等などの防疫施設を設置している
- ② () 踏込消毒槽を牛舎の出入口に置くなどの防疫対策に心がけている
- ③ () 消石灰の散布を行っている
- ④ () 牛舎内に野生動物が侵入しないようにネット等を張っている
- ⑤ () その他 (具体的に: _____)
- ⑥ () 行っていない

問 21. 蹄病予防等のために削蹄を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない

問 22. 1年1回以上、削蹄を行っていますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

VI. 外科的処置等について

問 23. 農場内で、除角を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない ⇒ 「問 27」へ

問 24. 除角を行う時期は、主にいつ頃ですか (○は1つ)

- ① () 生後7日以内
- ② () 生後8日以上3ヵ月齢未満
- ③ () 3ヵ月齢以上6ヵ月齢未満
- ④ () 6ヵ月齢以上1年未満
- ⑤ () 1年以上たってから

問 25. 除角を行う場合、主にどのような方法で行っていますか (○は1つ)

- ① () 焼ゴテ
- ② () 電熱式除角器 (デホーナー)
- ③ () ゴムリング
- ④ () 断角器
- ⑤ () 薬品
- ⑥ () その他 (_____)

問 26. 除角を行う時に麻酔を使っていますか (○は1つ)

- ① () 使っている
- ② () 使っていない

問 27. 農場内で、断尾を行っていますか (○は1つ)

- ① () 行っている
- ② () 行っていない

問 28. 副乳頭の処置を行っていますか (○は1つ)

- ① () はい
- ② () いいえ

問 29. 初めて子牛に初乳を飲ませるのは、生後何時間くらいですか (○は1つ)

- ① () 生後直ちに与える
- ② () 生後6時間以内
- ③ () 生後6～12時間以内
- ④ () 生後12時間以上たってから

問 30. 何日間、子牛に分娩牛(母牛)から搾った乳を与えていますか (○は1つ)

- ① () 1日間
- ② () 2日間
- ③ () 3日間
- ④ () 4日間以上

Ⅶ. その他

問 31. 管理者が牛に近づいたときの牛はどのような反応をしますか (○は1つ)

- ① () そばに寄って触っても逃げない
- ② () 比較的近くまで逃げないが、一定の距離以上は近づけない
- ③ () 近づこうとすると、遠くからでも逃げる
- ④ () 近づくと威嚇してくる

問 32. 牛を移動させる際に何か道具を使っていますか (○は1つ)

- ① () 使っていない
- ② () ロープを使って誘導している
- ③ () 棒などで叩いて誘導している
- ④ () その他(具体的に: _____)

問 33. 牛が身繕いできる器具はありますか（○は1つ）

- ①（ ）ある（カウブラシ等を設置している）
- ②（ ）ないが、定期的にブラッシングしている
- ③（ ）ない。ブラッシングも出荷等の特別な時にしかしない

問 34. 牛体の汚れ防止等を目的に、カウトレーナーを使用していますか（○は1つ）

- ①（ ）常時、使用している
- ②（ ）牛が慣れるまで使用し、その後は電気を切っている
- ③（ ）使用していない

問 35. 将来的に農場での飼養管理を考える際に、アニマルウェルフェアを検討する必要があると思いますか（○は1つ）

- ①（ ）はい
- ②（ ）いいえ

ご協力ありがとうございます。